

修理を依頼される前に
次の点をもう一度お調べください



ビジョンフレックスアームの調整

ビジョンフレックスアームの調整作業を行う場合は、必ずこの取扱説明書(ビジョンフレックスアームの調整)を読んでから行ってください。
表示の内容を無視して誤った使い方をすると故障の原因となります。
※ビジョンフレックスアーム工場出荷時には、適切なバネ強度に調整して出荷しております。

調整上の注意!

- ※本体調整作業にあたりケガををしないように必要に応じてグローブ等を着用して十分に注意してください。
- ※アーム部分の調整は、テーブルにしっかりと固定してから行ってください。
- ※アームの可動部バネ部分は、本体重量による負荷が加わる部分ですので注意して操作してください。
- ※調整の作業時にスクリー部分等を傷つけることがありますので適切な保護をして作業してください。

作業ステップ1



本体をデスクへ確実に固定して作業を行います。この時マイクロコースプヘッドは取り外して行います。マイナスのドライバーを使用してパーツBを固定しスクリーAを反時計回りに緩めます。

作業ステップ2



スクリーAを緩めます。
※注意:この時スクリーAを緩めすぎてパーツBから外さないよう注意して下さい。本体可動部バネの巻き込みが完全に戻ってしまいバネ力が失われてしまいます。

作業ステップ3



写真の様にパーツBを外側に移動させます。この時パーツBの凹面と本体の凸面の位置を変えることでバネの調整が可能となります。パーツBを時計方向に回転させることでバネ強度は強くなります。
※注意:過度に位置を変更すると故障の原因となりますので注意して下さい。

作業ステップ4



パーツBの位置をマイナスドライバーで回転し変更した後でパーツB凹面、本体凸面を合わせ元の位置に戻します。

作業ステップ5



パーツB内側の凹面と本体の凸面の位置がしっかり合っていることを確認してスクリーAを固定します。

写真は、説明のためパーツBを外していますが調整時には、絶対に外さないでください。



パーツB内側にバネ強度位置を固定するため凹面、対する本体側には、凸面があります。この凸面と凹面の位置調整によりバネ強度を調整します。

各部の名称

